

各位

上場会社名 株式会社 カーメイト
 代表者 代表取締役会長兼社長 村田 隆昭
 (コード番号 7297)
 問合せ先責任者 執行役員(総務・人事担当) 坂尻 一之
 (TEL 03-5926-1211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,040	211	88	13	1.83
今回発表予想(B)	6,949	286	239	174	22.99
増減額(B-A)	△90	75	151	160	——
増減率(%)	△1.3	35.7	172.0	1,156.9	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	6,652	△251	△309	△373	△49.18

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,270	1,129	770	470	61.84
今回発表予想(B)	15,990	859	526	320	42.10
増減額(B-A)	△280	△270	△243	△150	——
増減率(%)	△1.7	△23.9	△31.6	△31.9	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	15,566	976	464	302	39.79

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,240	5	45	25	3.39
今回発表予想(B)	6,234	82	247	230	30.39
増減額(B-A)	△5	76	202	205	——
増減率(%)	△0.1	1,330.2	441.9	797.2	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	5,856	△431	△335	△342	△45.08

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,500	646	568	370	48.68
今回発表予想(B)	14,300	451	499	354	46.66
増減額(B-A)	△200	△194	△68	△15	——
増減率(%)	△1.4	△30.1	△12.1	△4.1	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	13,796	367	150	107	14.08

修正の理由

1. 連結業績予想について

(1) 第2四半期累計期間

第2四半期累計期間の売上高は個別業績予想の修正に加え、CARMATE KOREA CO.,LTD(韓国)の売上が韓国ウオン安の影響で未達になったことにより前回予想に対し1.3%減少の6,949百万円となりました。

営業利益につきましては概ね個別業績予想の修正に基づいて行うものであります。経常利益は海外連結子会社で為替差損の発生がありました。個別業績予想の修正に加え、239百万円となりました。四半期純利益は個別業績予想の修正に加え、子会社において法人税等負担額(過年度分)の増加が発生したため174百万円となりました。

(2) 通期業績予想

下半期につきましては世界的な金融危機の影響を受け、当社グループを取り巻く経営環境は極めて厳しい状況で推移するものと思われ

ます。
 このような状況の中、通期の売上高は個別業績予想の修正に加え急激な為替変動により海外子会社の売上高を下方修正し、前回予想に対し1.7%減少の15,990百万円を予想しております。

損益につきまして個別業績予想の修正に加え、快美特汽車精品(深セン)有限公司は急激な人民元高、CARMATE KOREA CO.,LTD(韓国)は急激な韓国ウォン安により大幅な下方修正を行いました。またCARMATE USA INC(米国)も急激な円高により厳しい状況が予想されます。その結果、営業利益は前回予想に対し23.9%減少の859百万円、経常利益は31.6%減少の526百万円、当期純利益は31.9%減少の320百万円と予想しております。

2. 個別業績予想について

(1) 第2四半期累計期間

第2四半期累計期間の売上高はほぼ前回予想に沿った進捗となり0.1%未達の6,234百万円となりました。

営業利益につきましては原材料価格の上昇による製造原価の上昇がありましたが、棚卸資産(製品)の減損処理による評価損は予想値を下回ったことにより、前回予想の営業利益を上回り82百万円となりました。経常利益、四半期純利益につきましては営業利益の増加に加え為替差益(営業外収益)を計上したことにより、経常利益247百万円、四半期純利益230百万円となりました。

(2) 通期業績予想

通期業績予想につきましては、当社を取り巻く経営環境は極めて厳しい状況で推移するものと思われます。通期の売上高は国内需要の大幅な減少(主に電子・電気機器部門の製品)があり、また販売価格の下落が予想されるため前回予想に対し1.4%減少の14,300百万円を予想しております。

営業利益は販売価格の下落があり、また引き続き原材料価格上昇の影響があり前回予想に対し30.1%減少の451百万円を予想しております。経常利益、当期純利益につきましては上半期までに計上した為替差益、法人税等の負担減等により減少幅は縮小し、経常利益は前回予想に対し12.1%減少の499百万円、当期純利益は4.1%減少の354百万円を予想しております。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上